

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和7年 7月 22日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者  
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
甲賀市甲南町柑子2002番地24  
氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
株式会社エコパレット滋賀 代表取締役 鷹見善彦

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社 エコパレット滋賀 代表取締役 鷹見善彦
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	甲賀市甲南町柑子2002番地24

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社 エコパレット滋賀					
事業所の所在地	甲賀市甲南町柑子2002番地24					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	5	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 廃プラスチック製品製造業
事業の概要	容器包装プラスチックのリサイクル、プラスチックパレット製造					
従業員の数	46	人	操業時間	23	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ	10 台	空気調和設備	3 台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2021	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2025	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

### 1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

( 経営理念 )  
私たちは、日々変化する社会が求めるものを提供し続けることにより、社員の幸福の実現と地球環境の保護に努めます。

( 環境方針 )  
株式会社エコパレット滋賀は、廃プラスチックの材料リサイクル及び、リサイクル材料からのパレットの製造、販売事業活動において、環境保全は経営の重点課題であり、環境に対する正しい知識を持つとともに、環境負荷の低減を図るために全社一丸となって、自主的・積極的に、環境への取り組みを推進します。 1)環境  
関連法規則や当社が約束したことを遵守する。

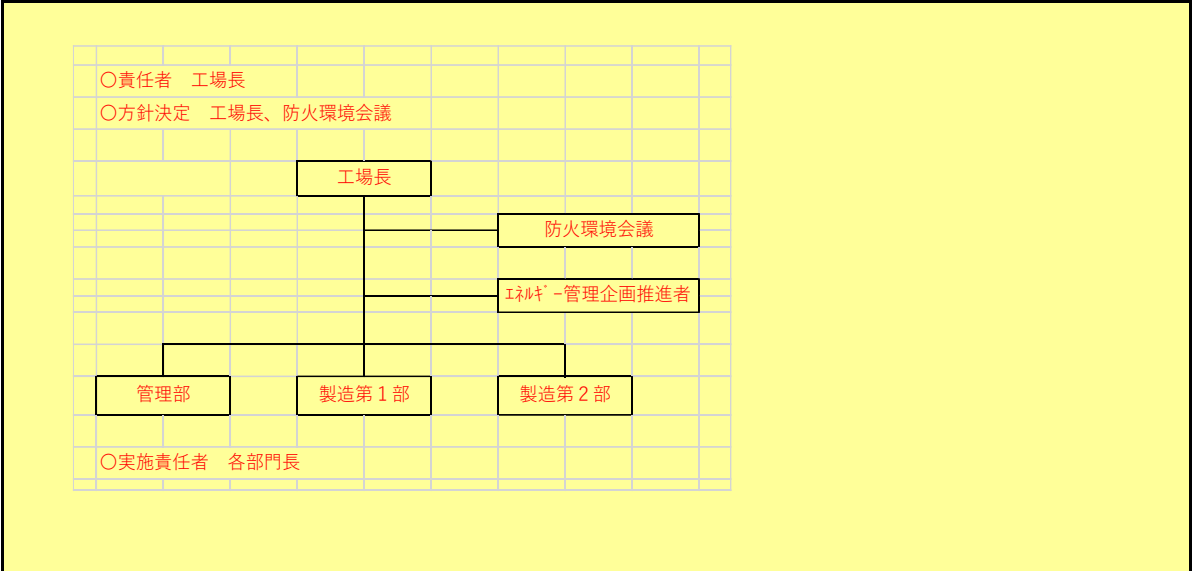
2)二酸化炭素排出量を削減する。  
・使用電力量の削減  
・化石燃料使用量の削減

3)廃棄物の削減及び再資源化を促進する。

4)排水量を削減する。

5)グリーン商品の購入やグリーン商品の調達企業の採用を優先して行う。

### 2 取組の推進体制



### 3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

滋賀県リサイクル推進協議会の会員として、協議会の活動を通じ、県民のリサイクルがさらに進むように、普及啓発やリサイクル可能な段ボール等贈呈などに取り組んできた。  
今後も当社および滋賀県リサイクル推進協議会によるリサイクル推進の啓発活動や技術向上により、さらにリサイクルの品目や量の拡大に取り組んでいきたい。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	電気消費効率が良い機器更新による電気使用量の削減	2025~2027年	継続して取組中
2				
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組により、本年度より原単位管理として、使用電力量の削減を目指します。</p> <p>目標値として、                      2019年度実績 エネルギー使用に係る原単位 0.1124                      2025年度目標 エネルギー使用に係る原単位 0.0933                      年平均1%削減を設定</p>	<p>2024年度実績                      使用電力量 9,187千Kwh、                      原単位 0.08782                      年平均2.5%減で推移</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	( )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	2,149	2,199	2,321	2,131	2,113	
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	4,197	3,607	4,197	4,184	4,024	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	3,739	3,607	4,197	4,184	4,024	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移		0.09944	0.09347	0.09619	0.09007		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	当面、計画立案が難しい		
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
当社は、限りある地球資源を保全するとともにCO <sub>2</sub> を削減し、地球温暖化防止、SDGsの推進に貢献することを目的として、廃棄物のリサイクルが天然資源の保全やCO <sub>2</sub> の削減に貢献するものと捉え、廃プラスチックによる製品づくりを通じ、滋賀県で発生する廃棄物のリサイクルをさらに推進し、CO <sub>2</sub> ネットゼロ社会づくりの取り組みに貢献したい。	
	CO <sub>2</sub> 削減貢献量
	t-CO <sub>2</sub>

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
<p>目標 廃棄物のリサイクルによる温室効果ガスの排出削減貢献量が、下記の方法により算定した2024年度数値 67,947 t-CO<sub>2</sub>を上回ることとする。</p> <p>リサイクルによる削減貢献量は、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出量原単位データベース(Ver.3.5)」(環境省資料)、焼却場の環境負荷原単位等(龍谷大学笹文彦名誉教授監修)を用いて以下の手順により算定する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 当社でリサイクル後の品目ごとの量を求める。</li><li>② このリサイクル品目の量が、天然資源起源の原材料の削減につながると考え、この削減量に(Ver.3.5)による原単位(t-CO<sub>2</sub>/〇〇)をかけることによりCO<sub>2</sub>削減量を求める。</li><li>③ このリサイクルに係る工程から発生するCO<sub>2</sub>量を、(Ver.3.5)の表8-3の廃棄物の種類・処理方法別(リサイクル)の排出原単位を用いて算定する。</li><li>④ ②で求めた削減量から③で求めた発生量を差し引き、リサイクルによる貢献量を求める。</li><li>⑤ リサイクルにより、焼却場への負荷を削減することによる温室効果ガスの排出削減量を求め、④に加算し、廃棄物のリサイクルによる温室効果ガスの排出削減貢献量を求める。</li></ol> <p style="text-align: center;">地球資源 ↓ ②CO<sub>2</sub>量排出 廃棄物 → リサイクル → 製品 ↓ ③CO<sub>2</sub>量排出 ↓ 焼却場で処分した場合 ⑤CO<sub>2</sub>量排出</p> <p>リサイクルによる温室効果ガス排出削減貢献量 = ②CO<sub>2</sub>量排出 - ③CO<sub>2</sub>量排出 + ⑤CO<sub>2</sub>量排出 次項に模式図を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 廃プラスチック類 7497t(マテリアル) 8471(サーマル)</li><li>② 廃プラスチック類 7497t×1.95(パレットへ) = 14769t-CO<sub>2</sub> 廃プラスチック類 8471t×7000kcal/kg RPF等熱量 ×0.573 = 3897t-CO<sub>2</sub> 8718kcal/ℓ 灯油熱量 ②合計 18666t-CO<sub>2</sub></li><li>③ 廃プラスチック (7497+8471)×0.149 = 2350t-CO<sub>2</sub> ③合計 2350t-CO<sub>2</sub></li><li>④ リサイクルによるCO<sub>2</sub>削減貢献量 ②-③ = 18666t-2350t = 16316t-CO<sub>2</sub></li></ol>

⑤ リサイクル事業を通じ、他者である焼却場からの温室効果ガスの排出削減量を求める。  
 1tのゴミを焼却場で焼却する際に使用する電気、重油等の操業に関する環境負荷原単位(kg-CO<sub>2</sub>/t)は、電気64.89、重油3.525、脱塩素剤1.144、重金属安定剤12.263、尿素水6.271、ピット薬剤0.152であり、合計すると88.245kg-CO<sub>2</sub>/t=0.088t-CO<sub>2</sub>/tとなる。

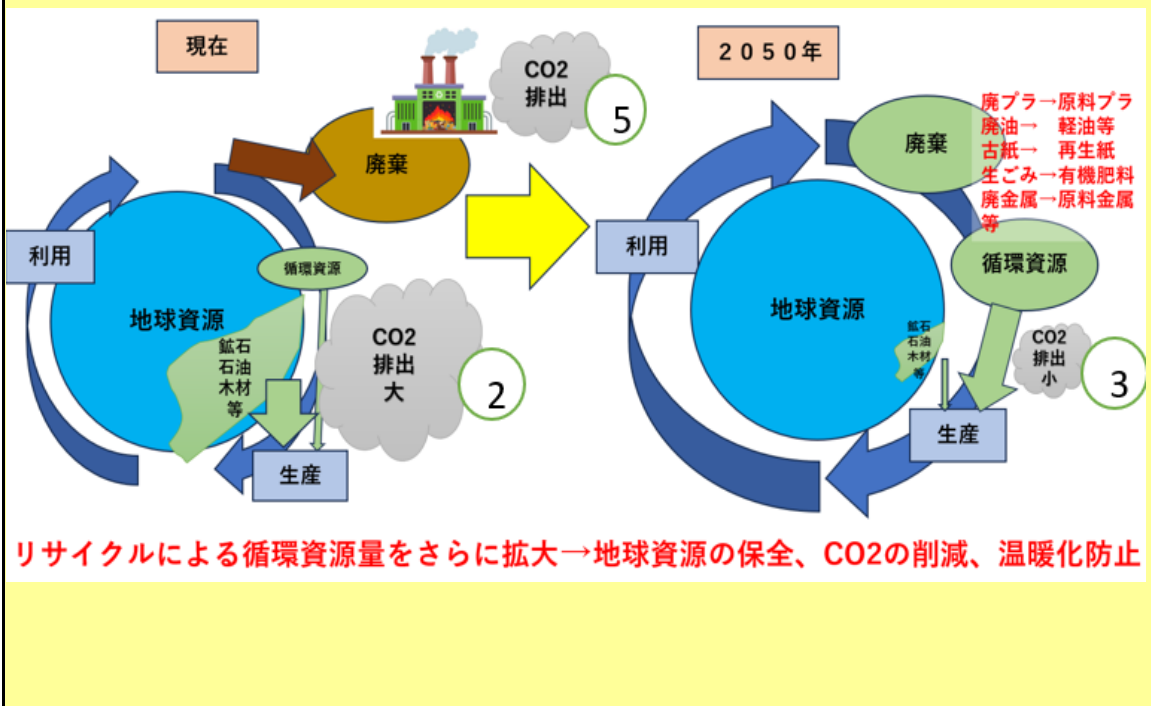
廃プラ 15968tを焼却した際の焼却場自体の環境負荷は、15968t×0.088t-CO<sub>2</sub>/t=1405t-CO<sub>2</sub>となる。

廃プラの焼却により、廃プラ自体から排出される二酸化炭素は、廃プラの素材をポリエチレンとポリプロピレンであることから、炭素含有量は12/14=0.857、二酸化炭素換算率3.67をかけると、15968t×0.857×3.67=50222t-CO<sub>2</sub>となる。

よって、廃プラについての焼却場からの温室効果ガスの排出削減量は、1405t+50222t=⑤51631t-CO<sub>2</sub>となる。

以上により、事業活動を通じた他社の温室効果ガスの排出削減による貢献量は、

$$\text{②CO}_2\text{量排出} - \text{③CO}_2\text{量排出} + \text{⑤CO}_2\text{量排出} \\ = 18666 - 2350 + 51631 = 67947 \text{ t-CO}_2/\text{年となる。}$$



(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO<sub>2</sub>削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
CO <sub>2</sub> 削減貢献量の算出根拠